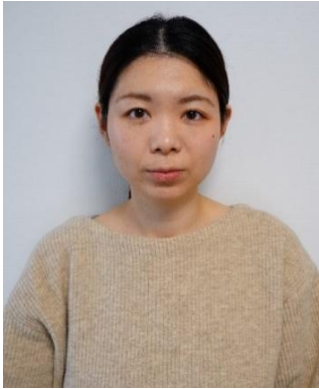





令和3年度 鳥取県作業療法士会 理事会立候補者一覧
(敬称略・掲載は立候補届の受理順です)


会長候補	段 敬史	介護老人保健施設サンライズ名和
	<p>私の士会理事での関わりは6期（12年）になります。会長としては1期を終えますが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、日常業務をはじめ様々なところに支障が生じました。私自身も会長としての役割も十分に果たせなかったと感じています。徐々に収束に向かうと思われませんが、生活様式の変化とともに、これからさらに士会活動にも工夫が求められます。来期、会長としての役割を担う機会をいただけたら、新たな気持ちで努めたいと思います。常に多くの課題がありますが、協会と連携を図りながら、士会として出来ることを見極め、一歩ずつ進んで行けるよう、会員の皆様と取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>微力ではありますがこれまでの経験を活かし、皆様に役立つ働きをしたいと思いい立候補いたします。</p>	
理事候補	梅津 清司郎	YMCA米子医療福祉専門学校
	<p>2期4年間、財務部長として鳥取県士会の会計業務を務めて参りました。日ごろから会員の皆様のご協力があり差し障り無く管理運営をさせていただくことができました。ありがとうございます。</p> <p>この4年間の財務業務を振り返ると会員の皆さんから預かった会費を管理し各部局に配分するだけでなく県士会事業全体の不要な支出の削減や財務に関する効率的な運営を心がけてきました。まだまだ工夫の余地はあると思っております。引き続き、会員の皆様とともに学び、管理運営、情報伝達を通して鳥取県士会の発展に貢献していきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願ひ申し上げます。</p>	
理事候補	坂本 一郎	医療法人 さとに田園クリニック
	<p>3期目の理事選に立候補させて頂きます、さとに田園クリニックの坂本一郎と申します。過去2期は領域対策部長として現職者選択研修、運転と作業療法など担当させて頂きました。平素より県士会員や委員の皆様のご協力を頂き企画運営が行えていることに改めて感謝を申し上げます。</p> <p>今回の立候補の理由として、担当分野における①Web研修の円滑化、②鳥取県作業療法士会ホームページによる有用な情報の提供（視覚化）、③組織体制と外部協力者との連携強化に取り組みたいと考えています。また、鳥取市認知症初期集中支援チーム員や鳥取市地域リハビリテーション支援事業の経験を基に、鳥取県作業療法士会員であることの有用性や3委員会の繋がりについてお伝えすることが出来れば幸いです。会員の皆様が地域に求められ地域貢献や社内貢献に繋がる体制作りを努めて参ります。今後とも当県士会へのご支援とご協力をお願い致します。</p>	
理事候補	土井 宣幸	鳥取県済生会介護老人保健施設はまかぜ
	<p>このたび、令和3年度鳥取県作業療法士会役員候補者選挙に立候補させていただきました。土井宣幸と申します。今年、未曾有のコロナ禍もあり、これまで当たり前に行っていた生活様式が一変した1年でした。鳥取県作業療法士会においても当り前の活動ができない状況となり、理事の一員として副会長、規約委員会、MTDLP委員会を担わしていただきながら、新たな方法を模索した1年間でした。今後、しばらくコロナ禍は続くことが予想され、会員皆様の学びの場の創設、県民への作業療法の普及啓発や健康増進への貢献をどのようにしていくかなど課題は山積しています。1つ1つ課題を解決できるよう会員の皆様の協力の基、鳥取県作業療法士会の発展のお手伝いができればと考えています。よろしくお願ひ申し上げます。</p>	


理事候補	田中 寿美	有料老人ホーム（介護付）うらら皆生
	<p>令和元年より初めて理事に就任し、財務副部長としても県士会活動に携わらせていただきました。その中で勉強不足を感じることもありましたが、鳥取県作業療法士会が変わっていく為の多くの意見交換を通して一つ一つ創り上げていくことに携わることができたのではないかと考えています。自分なりの言葉で意見を伝えていくことが県士会を盛り上げていくことにつながると思いました。その為、若輩者ですが、少しでもお役に立てたらと思い鳥取県作業療法士会の理事に引き続き、立候補させていただきました。今後もできることをして自分なりの言葉で伝えていくことを念頭に置き臨んでいく次第です。</p> <p>少ない経験ではありますが、更なる作業療法の普及や発展の為に微力ながら貢献したいと思っております。よろしくお願い致します。</p>	


理事候補	藤田 恵子	医療法人 誠医会 老人保健施設セラトピア
	<p>岡山の精神科病院に10年勤務後、青年海外協力隊に参加。地元鳥取に帰国し老人保健施設へ就職、現在に至ります。現在、鳥取県作業療法士会理事として災害対策に携わっておりますが、コロナ禍の中、地域の災害避難訓練が中止となり、活動が思うように行きません。しかし、今だからできること、災害時に大切な普段のコミュニケーションを大切に、皆さまと引き続き連携をとって行きたいと思っております。今後も地域と共に安心して暮らせる街作りをめざし、ボランティア活動で培った行動力、認知症を持つ方から学んだ思いやりをもって、地域に貢献していきたいです。よろしくお願い致します。</p>	


理事候補	田住 秀之	YMCA米子医療福祉専門学校
	<p>これまでの3期6年間、理事として主に認知症対策委員長、OT協会認知症推進員などを務めてきました。急務である認知症に対応できる人材育成については、100名を超える認知症研修修了者を登録することができ、県下における認知症初期集中支援チームへの派遣や認知症予防事業、若年認知症の人と家族の会の運営協力など、県士会として関係機関との連携強化と新規事業協力につなげることが出来ました。</p> <p>今後も各地域の実情に即した派遣体制整備と人材育成を進めながら、作業療法士の強みを生かせる機会創出に取り組みたいと考えております。そして、作業療法士(会)が“生きづらさを抱える誰もが暮らしやすい街づくり”に貢献できるよう実績を積み上げ、地域との関係・信頼基盤の構築につなげていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。</p>	


理事候補	高梨 悠一	YMCA米子医療福祉専門学校
	<p>学術部長として2年間働かせていただきました。県士会のホームページの立ち上げや、それに伴う学術部勉強会紹介のページ、査読者を公募するシステムの立ち上げなど新しいことに挑戦もしましたが、COVID-19の影響により第17回鳥取県作業療法学術集会の延期をはじめ様々な行事が実施できず、皆様にはご迷惑をお掛けし大変申し訳なく思っております。未だCOVID-19が収束する目途が立ちませんが、会員の皆様の発表の場などの確保をすることは学術部の重要な役割の一つと考えておりますので、Web上での発表の機会を設けるなど世の中の流れに沿った改革を今後も検討していきたいと考えております。また思ったように査読者が増えていかないという反省から、査読者に求められる知識などを伝える場（研修会）なども今後新たに創設できればと考えております。</p> <p>県士会が皆様にとってより良いものになるように尽力していきたいと考えておりますので宜しくお願い申し上げます。</p>	


理事候補	菊本 理恵	YMCA米子医療福祉専門学校
	<p>私はこれまでの1期2年間、事務局長として県士会活動に携わらせていただきました。法人の管理運営など不慣れな点もありましたが、皆様のご協力もあり無事務めることができました。</p> <p>県士会活動の一環で地域の皆さまや多職種の方と一緒に活動し情報交換を行う中で、「病気の人もそうでない人も」「こどもから高齢者まで」関わることのできる作業療法の知識・技術が活かせる機会が多いことを実感していますが、同時に知識・技術のアップデートや会員が活躍できる機会を広げ、協力していただきやすい派遣体制を作る必要性を感じました。</p> <p>今後も、会員の皆様が学びやすく繋がりやすい士会活動を行いながら、会員自身の強みを活かして求められる場で活躍できるような体制づくりを皆様と一緒に行ってまいりたいと思ひ立候補いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>	


理事候補	谷口 弘	鳥取県立中部療育園
	<p>鳥取県作業療法士会理事に立候補しました、中部療育園の谷口弘と申します。</p> <p>関係機関、団体から作業療法士、会へのニーズが増えている中、渉外部として作関連機関との連携、調整を行ってまいりました。これも会員の皆様の積極的な協力があり行うことができたと感じております。作業療法士へのニーズが増えている中、学校など特別支援教育からの子どもへの生活学習への困り感に対する支援ニーズも増えています。しかし発達分野に対応、発達分野に所属する士会員は多くなく、要望に応えきれない印象を持っております。そして特別支援教育関係支援について調整の流れや支援するOTへの報酬、会員のスキルなど支援体制を構築する必要を感じています。療育機関（発達分野）に所属するOTとして、これらニーズに対応できる支援体制づくりを進めたいと考えています。皆様どうぞよろしくお願ひします。</p>	

理事候補	永見 忠志	医療法人 友絃会 皆生温泉病院
	<p>昨年度まで副会長並びに地域包括ケアシステム対策委員会の責任者を務めさせていただきました。会員の皆様とは研修会を通じ、作業療法士の専門性や地域住民に貢献できることは何かを考える機会を頂きました。各市町村では地域包括ケアシステムの構築に向けた事業が徐々に広がりを見せています。作業療法士が、個別ケア会議や一般介護予防事業に参加する機会は益々増えて来ると予測され、システムの一役を担うべく専門性を生かした活動ができること、多職種との連携を強化させることがより重要になると考えています。地域の中で作業療法士が当たり前活躍できる体制、地域で欠かせない魅力ある専門職種だと発信できるような活動をしたいと考えています。</p> <p>会員のみなさんが地域・住民にとって、魅力ある作業療法士として活躍できる体制の実現・情報の配信など少しでもお役に立てればと考えています。よろしくお願ひ致します。</p>	

理事候補	小山 雅之	SOI STANCE
	<p>この2年間、事業部として中国ブロック研修、介護ロボット事業、臨床実習指導者講習会の運営等に携わらせて頂きました。中国ブロック研修では他士会との交流、情報交換を通して県士会運営の課題やそれにどう対応していくのかを検討し、鳥取県士会での運営に活かす事が出来ました。また介護ロボット事業では、実際の介護現場の意見を聴取する事から始め、現場のニーズを満たせるロボットを提案する過程を学ぶ事が出来ました。ここでは特に作業療法士だけでなく、実際の介護現場で働く経験豊富な介護職員や産業技術系の専門家の方々とも繋がりが出来ました。臨床実習指導者講習会については、現時点では鳥取県士会における臨床実習指導者講習修了者数は不十分という状況を踏まえ、今後も積極的な開催が必要となっています。理事として、今後も上記の事業について引き続き進んでいきたいと考え、立候補しました。</p>	

理事候補	松本 周三	鳥取県中部医師会立 三朝温泉病院
	<p>この度、鳥取県作業療法士会の理事候補に立候補致しました、鳥取県中部医師会立三朝温泉病院の松本周三と申します。</p> <p>私自身は先輩からの誘いで、入職間もない頃から県士会活動に関わる機会を頂き、多くの経験をさせて頂きました。その中で近年ではITやICTの活用に関わらせて頂きました。運営面では申し込み方法や参加者管理にインターネットサービスを導入し、運営側の負担軽減や会員の利便性向上に関わりました。また、県学会での運営では、ICTの活用により、講演を生配信し子育て世代が参加しやすくなり、質疑をオンライン上で行い質問のしやすい環境を構築したりしました。最近ではCOVID-19の流行で一気にICTの活用が進んでいます。県士会活動にICTを活用することで、さらに鳥取県作業療法士会やその会員、そして作業療法にとって有益なものを提供できる可能性があると感じています。その一助として活動したいと思い、立候補致しました。よろしくお願い致します。</p>	

理事候補	北山 朋宏	錦海リハビリテーション病院
	<p>この度、再び鳥取県作業療法士会の役員候補者選挙に立候補させて頂きます。</p> <p>県士会の理事とは別に、日本作業療法士協会の生涯教育制度推進委員を経験させて頂いたが、そこで鳥取県は生涯教育、特に現職者研修の受講率が全国の中でも高いことを知りました。現職者共通研修は、「臨床実践に必要な基礎能力向上を主眼とした」内容であり、また現職者選択研修は、「多様な視点を持ち、複数領域への対応が可能な作業療法士としての視点を養う」目的で開催をしております。作業療法士の質向上のため、重要な研修であり、受講率が高いことは大変に誇らしいです。私はそんな鳥取県の更なる質向上を目指していきたいと強く思います。県士会に入会して14年目にして初めて理事となり、教育部長として試行錯誤の2年間でしたが、大まかな県士会の流れは理解できたと思います。是非再び県士会の舵取りの一員として力が発揮できたらと考えております。</p>	

理事候補	西村 純一	医療法人 共済会 清水病院
	<p>この度、鳥取県作業療法士会理事に立候補しました西村純一です。</p> <p>昨年は新型コロナウイルスの流行により、日本のみならず世界の様相が様変わりしてしました。我々、作業療法士の世界では学会や研修会の中止、延期が相次ぎましたが、現在ではwebを活用するなど、学会、研修会、会議等の形式が変化してきているようです。皆様の日常業務においても、業務形態などに変化が求められてきているのではないのでしょうか。</p> <p>私は10年以上、県中部の病院にて作業療法業務に従事してまいりました。また、外部施設への業務協力などにも携わらせていただきましたが、コロナ禍では、院内、院外どちらにおいても、様々な変化が求められました。今後、私個人としても、鳥取県作業療法士会としても、更なる変化が求められることが予想されます。</p> <p>そのため、微力ながら会員の皆様と共に、変革推進に努めていきたいと思い立候補させて頂きました。皆様何卒よろしくお願い致します。</p>	

令和3年度 鳥取県作業療法士会 理事会推薦者一覧

理事候補	原田伸吾	デイサービスつむぎ
<p>これまで倫理委員長と地域包括ケアシステム対策委員東部リーダーを担当させていただいておりました。昨年鳥取県作業療法士会のホームページが一新された際、倫理委員会のメールアドレスを作成し、ハラスメントの事等、より相談しやすい環境を作りたいという意図がありました。まだ相談はございませんが、お気軽にご連絡ください。</p> <p>また、地域包括ケアシステムの構築に関しては、2025年・2040年に向けて、各市町村はもう待ったなしの状態動き続けています。地域包括ケアシステムで求められるのは、全ての人が住み慣れた地域で最期まで、その方らしく生きるための支援です。その方らしさを支援するとは、個々人の作業を支援するということであると思います。まさに作業療法士が活躍しなければならない事業であると言えます。より多くの作業療法士に興味を持って学んでいただき、一緒に取り組んでいきたいと思っております。皆様よろしくお願ひ申し上げます。</p>		

監事候補	江原貴子	大山リハビリテーション病院
<p>理事会より推薦をいただきました大山リハビリテーション病院の江原と申します。</p> <p>前期から監事を務めさせていただき、理事会に参加するたびに理事の皆様の一つ一つの課題に対して真摯な意見交換を目にしてきました。非常に信頼できる組織であることをあらためて感じており、監事を継続することを推薦いただき感謝しています。</p> <p>コロナ禍が続く中、士会活動が制限され不便さや不慣れなことも多々ありますが、会員の皆様と協力して活動して参りたいと思ひます。</p> <p>今期も監事として、「県士会の円滑な運営」ならびに「貴重な県士会費の適切な使用の監査」を役割として、微力ではありますが尽力していきたくと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>		

監事候補	小山久美子	済生会境港総合病院
<p>この度、監事に選任されました済生会境港総合病院の小山久美子です。宜しくお願ひします。</p> <p>前年度はコロナウイルス感染症によって当士会も様々な活動を制限され、皆様と交流する機会がとても少ない1年でした。そういった厳しい状況下においても協会運営の為に尽力して下さった役員・会員の皆様には心より感謝するばかりです。</p> <p>微力ではありますが、財務部長の経験を生かして当士会の発展に力を尽くしていきたくと思ひます。どうぞ宜しくお願ひします。</p>		

監事候補	花倉敏文	養和病院 精神科デイケアたんぼ
<p>当士会の監事は定款によると「2名以上3名以内」となっていますが、今回たぶん初めての監事3名体制となります。</p> <p>これまでの監事の皆様の仕事に恥じぬよう3名で協力し当士会の目的達成の為、会員の皆様の活動が間違いのない形で進められますよう見守り、確かめていきたくと思ひます。</p> <p>会員の皆様にも調査等の際にはご協力を宜しくお願ひ致します。</p>		